

今週の為替相場見通し(2018年1月22日)

総括表		先週の値動き			今週の予想レンジ	
		注	レンジ	終値		
米ドル	(円)		110.19 ~ 111.48	110.84	110.00 ~ 114.00	
ユーロ	(ドル)		1.2165 ~ 1.2323	1.2224	1.2050 ~ 1.2350	
(1ユーロ=)	(円)		134.99 ~ 136.31	135.51	133.00 ~ 137.00	
英ポンド	(ドル)		1.3728 ~ 1.3945	1.3853	1.3700 ~ 1.4000	
(1英ポンド=)	(円)	*	151.94 ~ 154.58	153.76	151.50 ~ 154.50	
豪ドル	(ドル)		0.7900 ~ 0.8038	0.7985	0.7850 ~ 0.8150	
(1豪ドル=)	(円)	*	87.67 ~ 89.02	88.55	87.00 ~ 90.00	

(データ)先週の値動きに関して、注の欄で無印の項目はみずほ銀行、*印の項目はブルームバーグ。

1. 米ドル

為替営業第二チーム 田家 裕介

(1)今週の予想レンジ: 110.00 ~ 114.00 円

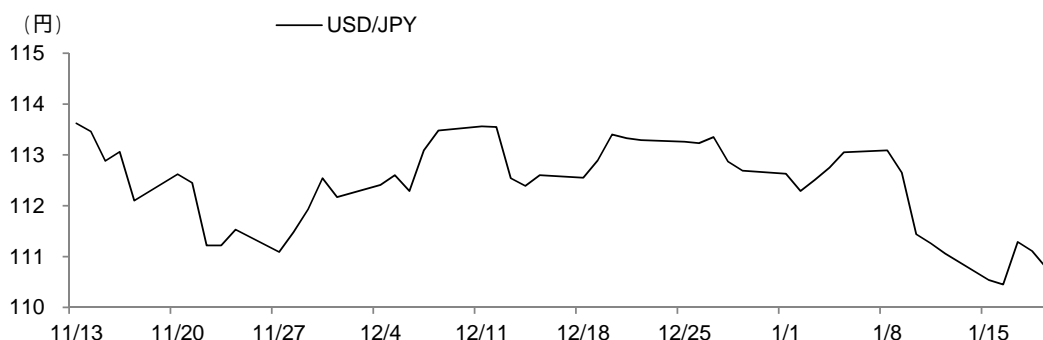
(2)ポイント【先週の回顧と今週の見通し】

先週のドル/円相場は上値の重い展開となった。週初15日、111.00円付近で取引を開始したドル/円は9日に日銀が国債購入額を減額したことによるテーパリング観測の高まりが継続したことや独連立政権樹立に向けて協議が進展するとの期待感から円買い、ユーロ買いの中でドル売りの展開となり、約4か月ぶりの安値110.32円まで下落。16日、110.98円まで反発する場面が見られたものの、「移民問題を巡る議論で1月19日以降の米政府閉鎖回避の取り組みが難航」との報道に米政府機関閉鎖への警戒感からドル/円は110.25円まで下落。17日、引き続きドル売り地合いの中で週安値となる110.19円まで続落。しかし「共和党指導部は政府機関閉鎖回避のため民主党不支持の暫定予算法案を推進」とのヘッドラインや米株が史上最高値を更新する中、ドル/円は111円台前半まで急反発。18日、日経平均株価が1991年以来となる24,000円台まで上昇するのを横目にドル/円は週高値となる111.48円まで続伸するも、マコーネル共和党上院議員の発言によって米政府機関閉鎖の警戒感が再度高まったことからドル/円は110.69円まで反落。19日、上院での可決は難航するとの見方が意識されたことや日本政府が月例経済報告で景気判断を上方修正したことから110.49円まで続落。その後は110円台後半での小動きとなり、同水準で越週した。

今週のドル/円は米政府機関が閉鎖されたことで下落するも、中銀イベントによって反発する展開を予想する。まずは米つなぎ予算が失効したことでもリスクオフの展開から売られやすい地合いとなる。こうした中、今週は中銀イベントが2つ予定されている。まず23日の日銀金融政策決定会合に関しては上記のようにテーパリング観測が高まっている状況下、注目度が高まっている印象である。しかし、正副総裁の人事選考が進んでいる中、サプライズの発表が出る可能性は低いと予想する。黒田日銀総裁の会見ではこれまで同様に物価上昇率2%に向けて粘り強く金融緩和を継続していく方針が示されることで、テーパリング観測の後退からドル/円は底堅い展開となる。また25日にはECB理事会が予定されている。ユーロは約3年ぶりの高値水準にある上、ECB理事会高官からはユーロ高を懸念する発言が相次いでいることから本会合ではユーロ高への牽制がなされよう。先週のドル安の一因はユーロ高であったことを踏まえると、この巻き戻しが起きることでドル買いの流れになる可能性が高いだろう。今週のドル/円は一時的に下落はするものの、円とユーロに対してドルが相対的に強くなることで上昇する展開を予想する。

(3)先週までの相場の推移

先週(1/15~1/19)の値動き: 安値 110.19 円 高値 111.48 円 終値 110.84 円



お客さま各位

ここではレポートの一部をご紹介します。
しています。

レポート全ページをご希望の方は、
お取引いただいているみずほ銀行の
お取扱店、またはお取引担当部まで
お問い合わせください。

以上